

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月27日

兵庫県知事
井戸 敏三 殿

提出者
住 所 兵庫県小野市小田町1516番地の1
氏 名 一方社油脂工業株式会社
代表取締役 阿部 清孝
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0794-67-1456

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一方社油脂工業株式会社 小野工場
事業場の所在地	兵庫県小野市小田町1516番地の1
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工業・界面活性剤製造業(石けん、合成洗剤を除く)[1643]
②事業の規模	製造品出荷額 77億円(平成25年実績)
③従業員数	112名(平成26年4月時点)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	排 出 量	334 t	15 t
	(これまでに実施した取組) 廃油（廃溶剤）の発生抑制と、有価物化の検討を進めている。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	排 出 量	214 t	15 t
	(今後実施する予定の取組) 廃油（廃溶剤）の更なる有価物化を推進する。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の燃料化可否によって分別を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も継続して燃料化可能な廃棄物の分別を行う。		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特に無し			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 特に無し			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	全処理委託量	334 t	15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	179 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	331 t	15 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 製造工程から排出される廃棄物に加え、廃棄不適合品等についても燃料化を推進している。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	全処理委託量	214 t	15 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	106 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	211 t	15 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	3 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き燃料化を推進し、廃棄物の有効利用を行う。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

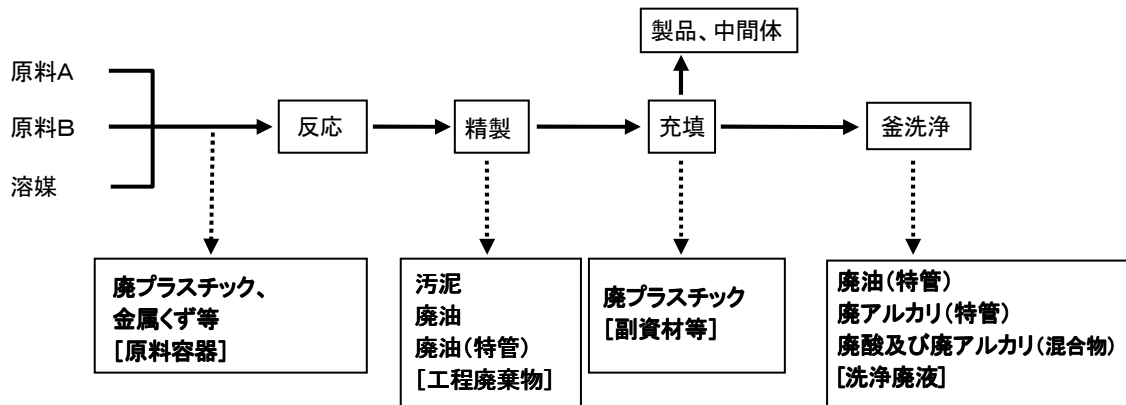
別紙

当該事業場において現に行なっている事業に関する事項

1. 産業廃棄物の一連の処理の工程

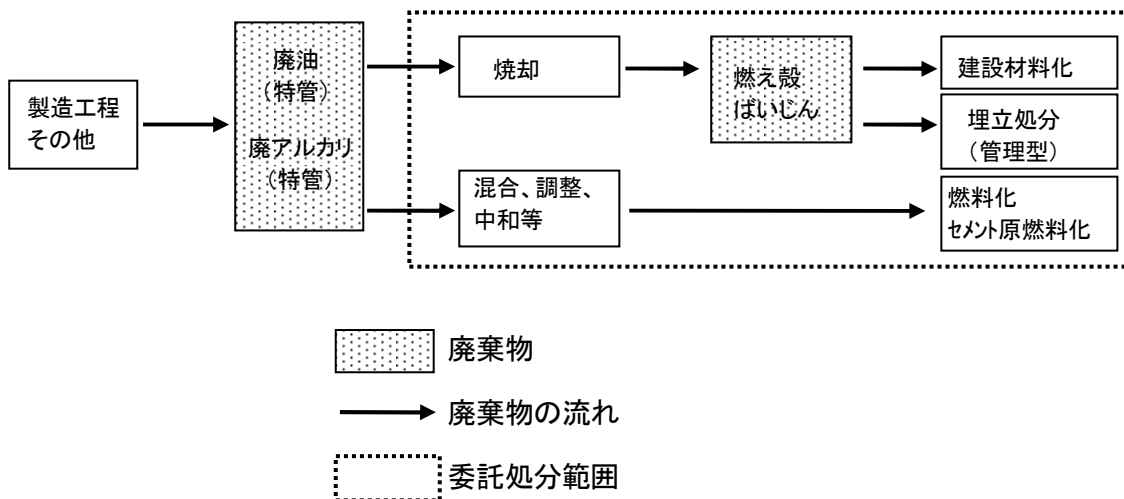
1-1. 主な製造工程における産業廃棄物の発生フロー

[図1] 各種工業用薬剤（反応系）の製造工程



1-2. 特別管理産業廃棄物の処理

[図2] 特別管理産業廃棄物の処理フロー



2. 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

責任者、管理者の役割

廃棄物排出責任者	廃棄物に関する統括管理 廃棄物処理に関する各事項の決定・承認
廃棄物管理責任者 (特別管理産業廃棄物管理責任者)	廃棄物の保管管理 廃棄物の排出状況の把握と改善策の検討 産業廃棄物管理票の交付、管理 処理業者の調査、選定、管理 廃棄物処理計画の立案
各部署責任者	各部署から発生する廃棄物の管理 担当部署の廃棄物削減の施策展開

管理体制図

